2026 年度日本学生オリエンテーリング選手権大会
ミドル・ディスタンス、リレー競技部門

要項 2

発行日：2026 年 11 月 13 日（金）
発行者：2026 年度日本学生オリエンテーリング選手権大会
ミドル・ディスタンス、リレー競技部門実行委員会
発行責任者：寺町 俊輝（実行委員長）
編集責任者：林 明穂（広報責任者）

はじめに

本大会では、日本学生オリエンテーリング選手権実施規則第 2.1 項に定められた「個人ミドル・ディスタンス競技部門」及び「3 名のリレー競技部門」（以下、**選手権の部**）を実施します。また、選手権の部に出場しない日本学連加盟員のための競技部門（以下、**一般の部**）を併設開催します。

略称・呼称

本要項では、以下の略称・呼称を使用することがあります。

略称・呼称	正式名称
インカレ実施規則	日本学生オリエンテーリング選手権実施規則
日本学連	日本学生オリエンテーリング連盟
競技者	「日本学生オリエンテーリング連盟規約」 第 5 章によって定められた競技者登録がなされている者
選手権の部	インカレ実施規則第 2 条第 1 項に定められた ミドル･ディスタンス競技部門、リレー競技部門
一般の部	選手権の部に出場しない日本学連競技者のための競技部門

開催日

2027 年 3 月 12 日（金）、13 日（土）、14 日（日）

- ▶ 3 月 12 日（金）：モデル・イベント、開会式
- ▶ 3 月 13 日（土）：ミドル・ディスタンス競技部門
- ▶ 3 月 14 日（日）：リレー競技部門、閉会式

※ 内容の一部変更、延期、中止の判断を行う可能性があります。

開催地

千葉県勝浦市

主催

日本学生オリエンテーリング連盟

主管

2026 年度日本学生オリエンテーリング選手権大会
ミドル・ディスタンス、リレー競技部門実行委員会

	ミドル・ディスタンス競技部門	リレー競技部門
実行委員長	寺町 俊輝（千葉 20）	
競技責任者	祖父江 有祐（筑波 19）	
運営責任者	神谷 篤大（新潟 20）	
コース設定者	髙橋 忠大（東北 20）	倉上 英（慶應義塾 20）
イベント・アドバイザー	太田 知也（京都 17） 宮嶋 哲矢（千葉 17）	

主管者連絡先（お問合せはこちらにお願いします）
実行委員会問合せ用アドレス（ミドル・ディスタンス、リレー競技部門共通）
E-mail: icmr2026_info@googlegroups.com

大会公式 Web サイト

URL: https://icmr2026.web.app/

タイムスケジュール

※スケジュールは現時点のものであり、変更する可能性があります。

3/12(金)
モデル・イベント
開会式

時刻	内容
08:30	開場
09:00 ｜ 11:00	モデル・イベント午前の部
11:30 ｜ 13:00	開会式
13:30 ｜ 15:30	モデル・イベント午後の部
16:00	会場閉鎖

3/13(土)
ミドル・ディスタンス競技部門

時刻	内容
08:00	開場
09:30	一般の部　競技開始
12:00	選手権の部　競技開始
14:45	表彰式
15:00	フィニッシュ閉鎖
16:30	会場閉鎖

3/14(日)
リレー競技部門

時刻	内容
08:00	開場
09:30	競技開始
14:30	フィニッシュ閉鎖
14:45	表彰式・閉会式
16:30	会場閉鎖

1 競技情報

競技形式／地図仕様

競技形式／競技区分	地図仕様			
	縮尺	等高線間隔	走行可能度	地図表記
ミドル・ディスタンス競技	1:10,000	5 m	4 段階表示	ISOM2017-2 準拠
リレー競技				

パンチングシステム

全てのクラスにおいて、SPORTident 社製電子パンチングシステム（SI カード）を使用します。

テレイン概要

千葉県勝浦市に広がる山林から成ります。比高は 60m 程度とそれほど高くはありませんが、尾根や沢が複雑に入り組んだ地形となっています。急斜面は地面が崩れやすく、非常に滑りやすくなっております。また土がけが随所に存在します。

概して走行可能度は高いですが、局所的に著しく低下する箇所も存在します。緩やかな尾根上や沢上は走行可能度が高いことが多く、急な斜面は可能度が低いことが多いです。一部に開けた荒れ地も存在します。

道はテレイン内のほぼ全域に存在します。川や湿地、池があり、岩は全くありません。切り立った崖が点在しており、一部には危険な崖もあります。

（2023 年度全日本オリエンテーリング選手権大会 ブリテン 3 より一部引用）

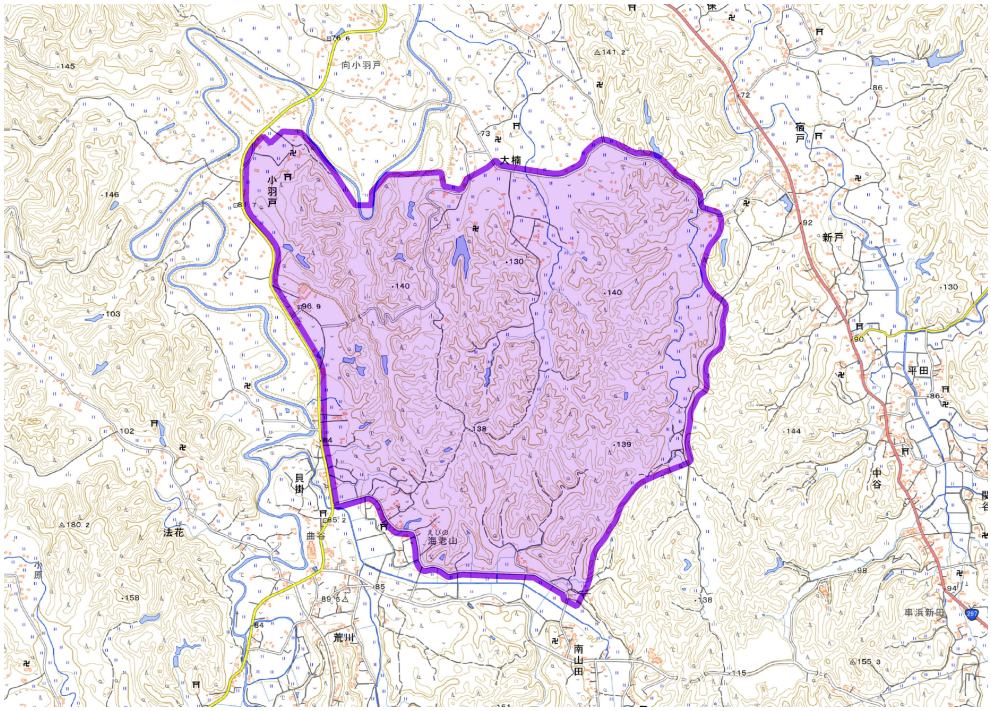
＜競技責任者　祖父江有祐＞

立入禁止区域・クローズテレイン

本大会への参加を予定している者（チームオフィシャル※1、併設大会参加者※2含む）および観戦を予定している者は、本大会終了までの期間、以下に示す区域へのオリエンテーリング目的（テレイン視察含む）での立入を禁止します（競技参加時を除く）。なお、立入禁止区域周辺道路の利用は妨げません。

※1 本大会参加校は、チームオフィシャルとして選手のサポートを行う者を登録することができます。チームオフィシャルについての詳細は、p.9 をご覧ください。

※2 本大会には日本学連競技者のみ出場可能ですが、日本学連競技者以外の方を対象とした併設大会を開催する予定です。詳細は 12 月頃発行予定の併設大会要項をご覧ください。



※ 国土地理院ウェブサイト（https://maps.gsi.go.jp/）より、地理院地図（電子国土 Web）を加工して作成。

また、立入禁止区域の設定に伴い、下記テレインをクローズします。クローズテレインの旧地図は大会公式 Web サイトに掲載しています。

クローズテレイン
「勝浦大楠 2023」(千葉県オリエンテーリング協会 2023 年作成)

トレーニングテレイン

本大会ではトレーニングテレインを設けません。

モデル・イベント

モデル・イベントを以下の通り開催します。

開催日	2027 年 3 月 12 日（金）
開催地	千葉県勝浦市
会場	旧勝浦市立総野小学校 (Google Map)
地図仕様	実際に競技に使用する地図と同一（縮尺・作成基準含む）
参加費	本大会の参加費に含まれます。
地図配布方法	要項 3 にて告知します。

ドーピング検査

▶ 本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。本大会参加者およびチームオフィシャルは、日本アンチ・ドーピング規程に従わなければなりません。

▶ ドーピング検査の対象となった本大会参加者は競技役員の指示に従って検査を受けなければなりません。なお、身分証明のため、本大会参加者は学生証・運転免許証等、写真により本人確認ができるものを持参してください。

▶ 本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになります。

▶ 血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後 2 時間の安静が必要となります。

▶ 禁止物質や禁止方法であっても、事前に所定の手続きによって治療使用特例（TUE）が認められれば、例外的に使用することができます。原則として TUE が必要な大会の 30 日前までに申請を行ってください。

▶ 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容及びドーピング検査並びに TUE については、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のWeb サイト にて確認してください。

▶ ミドル選手権クラス出場者はアンチ・ドーピングの e ラーニングの受講が必須になります。詳細は日本学連からの案内に従ってください。

2 クラスと参加資格

ミドル・ディスタンス競技部門

選手権の部

◆ クラス情報

クラス	優勝設定時間
男子選手権（ME）	30 - 35 分
女子選手権（WE）	

▶ 各選手権の優勝者をミドル・ディスタンス競技選手権者とします。
▶ 優勝設定時間はインカレ実施規則第 11 条第 2 項に定められた時間です。

◆ 参加資格

以下 2 点を共に満たす選手が「選手権の部」に参加することができます。（日本学生オリエンテーリング選手権ミドル・ディスタンス競技部門　競技者数及びその配分に関する規則による。）

▶ 日本学連に競技者登録されていること。
▶ ランキング内定者枠、地区学連枠、前年度個人実績枠のいずれかで出場資格を得ていること。

＜ランキング内定者枠＞

インカレミドル開催年度のインカレミドル選手権クラス枠配分用ランキングにおいて男子は上位 8 名の選手、女子は上位 4 名以内の選手が出場資格を持ちます (前年度個人実績枠に該当する選手を除く)。対象者は後日決定されます。

＜地区学連枠＞

各地区学連の競技者数配分は、後日日本学連技術委員会により決定されます。なお、出場者の選出方法は各地区学連で定められています。

＜前年度個人実績枠＞

以下の者は、ランキング内定者枠、地区学連枠とは別に前年度個人実績枠による出場資格を持ちます。

クラス	選手権の部の出場資格者	
男子選手権（ME）	加藤 賢斗（筑波 4）	
女子選手権（WE）	山本 美沙（筑波 2）	黒澤 香穂（京都 4）

一般の部

◆ クラス情報

クラス	対象	参加資格	優勝設定時間
MUA	男子上級者	日本学連登録 2 年目以上の男子	25 - 35 分
MUB	男子中級者		
MUF	男子新人	日本学連登録初年度の男子	
WUA	女子上級者	日本学連登録 2 年目以上の女子	
WUB	女子中級者		
WUF	女子新人	日本学連登録初年度の女子	

▶ 申し込み多数のクラスについては、複数のクラスに分割します。
▶ クラスの選定については、日本学連発行の「インカレ一般クラス棲み分けに関するガイドライン」をご参照ください。

リレー競技部門

選手権の部

◆ クラス情報

クラス	優勝設定時間 (3 人合計)
男子選手権（MER）	105 - 135 分
女子選手権（WER）	

▶ 各選手権の優勝校をリレー競技選手権校とします。
▶ 優勝設定時間はインカレ実施規則第 11 条第 2 項に定められた時間です。

◆ 参加資格

▶ 各校は男女それぞれ 1 チームのみ出場させることができます。
▶ 日本学連に競技者登録されている 3 名から構成されるチームであることが必要です。
▶ 「加盟と競技者登録に関する細則」第 5 条 1 項に定められている合同加盟を行っている場合は、代表となる構成校の名称でチームを出場させることができます。

＜インカレリレー特例措置＞

選手権の部にチームを構成できない参加校は、複数校にまたがって特例チームを構成し、参加することが可能です。特例措置を希望する参加校は、p.11 の「特例措置の申請」に従って申請してください。

▶ 詳細は日本学連発行の「インカレリレー特例措置に関するガイドライン」を参照してください。
▶ 特例措置にて構成されたチームは参考記録とし、表彰対象外とします。

一般の部

◆ クラス情報

クラス	対象	チーム編成	参加資格	優勝設定時間
MAR	男子上級者	男子 3 名	大会開催期間において日本学連競技者であること	60 - 90 分（3 人合計）
WAR	女子上級者	女子 3 名		
XAR	上級者	男女各 1 名以上を含む 3 名		
BR	中級者	3 名		
MAS	男子上級者個人	男子 1 名		20 - 30 分
WAS	女子上級者個人	女子 1 名		
BS	中級者個人	1 名		

▶ BR/BS の難易度は、ミドル一般の部の F クラス～B クラス相当です。
▶ MAS/WAS/BS は一斉スタート方式の個人競技です。
▶ BR のチーム編成については、男女の人数を問いません。
▶ 構成員の所属が複数校にまたがるチーム編成も認めますが、各校につき 2 チームまでに限ります。複数校にまたがるチームも正規チームとして認め、公式記録として扱います。

チームオフィシャル

参加校はチームオフィシャルを登録することができます。ミドルかリレー、どちらか一方の競技のみの出場でも登録可能です。チームオフィシャルは、ミドル競技及びリレー競技の選手権の部スタート地区において、選手のサポートが可能です。

各校に認められるチームオフィシャルの人数は、以下の通りです。
▶ 男子選手権の部への選手登録に対して最大 2 名まで
▶ 女子選手権の部への選手登録に対して最大 2 名まで
（各校最大で合計 4 名まで登録可能）

※ リレー競技の選手権の部に、複数校による特例チームで出場する場合は、特例チームを構成する大学の数だけチームオフィシャルを登録することが可能です。
※ 代表者ミーティング（テクニカルミーティング）は実施しません。テクニカルミーティング代替資料を要項 3 と同時に公開します。要項 3 発行後の変更点や連絡等がある場合のみ、公式掲示板を作成・公開します。

3 参加申し込み

エントリー方法

本大会の申し込みはナビゲーションスポーツ専用参加申し込みシステム Japan-O-entrY 上で行います。以下の URL にアクセスし、画面の指示に従ってお申し込みください。

3/13(土) M ミドル・ディスタンス競技部門
▶ https://japan-o-entry.com/event/view/2656

3/14(日) R リレー競技部門
▶ https://japan-o-entry.com/event/view/2657

※ 本大会の申込ページは日本学連加盟校の担当者 (学連登録を行なっているアカウント) のみが閲覧・申込可能です。
※ エントリー時に大会専用バスの利用人数を各大学単位で記入してください。なお、バス輸送費は本大会の参加費に含まれています。大会専用バスに関する詳細は、p.12〜13 をご覧ください。

申し込み締め切り日	2027 年 1 月 11 日（月・祝）
入金締め切り日	2027 年 1 月 15 日（金）

※ 支払期限までに決済が完了していない場合、エントリーは無効となります。

参加費

区分	項目	単位	金額
ミドル・ディスタンス競技部門	基本参加費	1 人	4,500 円
	「選手権の部」登録費	1 人	1,500 円
リレー競技部門	基本参加費	1 人	4,000 円
	「選手権の部」登録費	1 チーム	4,500 円
共通	チームオフィシャル登録費	1 人	8,000 円
オプション	SI カードレンタル	1 日・1 枚	300 円

▶ リレーオーダーは、別途要項 3 に記載する方法により大会の 1 週間前から登録を受け付けます。
▶ 本大会の報告書は大会公式 Web サイトでの公開のみとし、販売は行いません。
▶ レンタル SI カードを紛失、破損した場合は 1 枚につき 9,500 円の追加料金をいただきます。
▶ 入金締め切り日までに入金がない場合、予告なく申し込みをキャンセル扱いとすることがあります。必ず締め切り日までに入金をお願いします。
▶ やむを得ない事情により大会が中止になった場合でも、参加費の返金は行いません。あらかじめご了承ください。
▶ 参加費等は今後変更する可能性があります。変更する場合は変更した旨を別途要項 3 に記載します。

弁当の事前注文

3 月 13 日 (土) と 3 月 14 日 (日) の 2 日間は、各日 900 円/個にて弁当の事前注文を承ります。弁当のメニューおよびアレルギー品目については、弁当情報をご覧ください。なお、会場にはキッチンカーも出店予定ですので、弁当の注文は任意となります。

各学校エントリー担当者は、弁当の必要計数を計上し、本大会のエントリー時に併せて Japan-O-entrY 上で申し込みを行ってください。弁当の注文締め切りは、エントリー締め切り日と同日の **2027 年 1 月 11 日（月・祝）**です。

地図販売

本大会では地図販売の事前申し込みを受け付けます。なお、日本学連賛助会員の方は賛助会員特典として本大会で使用する地図を受け取れます。

地図の購入・受け取り希望 (日本学連賛助会員) については、本大会参加者・併設大会参加者・日本学連賛助会員・その他購入希望者の各区分とも、別途併設大会の Japan-O-entrY 上（併設ミドル、併設リレー）にてお申し込みください。

部門	区分	料金
ミドル・ディスタンス競技部門 リレー競技部門	コース図	500 円/枚
	全コントロール図	700 円/枚

※ 日本学連賛助会員の方には、選手権の部のコース図および全コントロール図を各 1 枚進呈いたします。

※ チームオフィシャルに配付する地図はコース図のみとし、男性オフィシャルには ME(男子選手権) クラス、女性オフィシャルには WE(女子選手権) クラスのコース図を配付します。

インカレリレー特例措置の申請

「インカレリレー特例措置」を希望する学校は、以下に従って申請してください。

◆ 申請方法

▶ メール件名に「【エントリー】【学校名】インカレリレー特例措置の申請」と記載の上、エントリー問い合わせ連絡先へ申請してください。

▶ 申請期限は参加申し込みと同様に **2027 年 1 月 11 日（月・祝）**とします。

エントリー締め切り後の内容変更

エントリー締め切り日 **2027 年 1 月 11 日（月・祝）**の翌日以降は、エントリーの追加など金額の変更が発生するエントリー内容の変更は認めません。ただし、マイ SI カードからレンタル SI カードへの変更や参加者キャンセル、チームオフィシャルの変更など、出場にあたりやむを得ない変更についてはこの限りではありません。これらの場合はエントリー問い合わせ先までご連絡ください。

なお、エントリー締め切り日以降はいかなる場合においても参加費の返金は行いません。

エントリー問い合わせ連絡先

主管者連絡先（お問合せはこちらにお願いします）
実行委員会問合せ用アドレス（ミドル・ディスタンス、リレー競技部門共通）
E-mail: **icmr2026_info@googlegroups.com**

4 宿泊・輸送

宿泊

本大会では宿泊の斡旋は行いません。

大会期間中の交通

3 月 12 日 (金) のモデル・イベントおよび開会式は駐車場と会場間、3 月 13 日 (土) と 3 月 14 日 (日) の大会期間中は、駐車場と会場間、および勝浦駅と会場間で大会専用バスを運行する予定です。

会場、駐車場および勝浦駅までは、原則下記アクセス図に従い、公共交通機関または自家用車・貸切バスでの移動をお願いいたします。

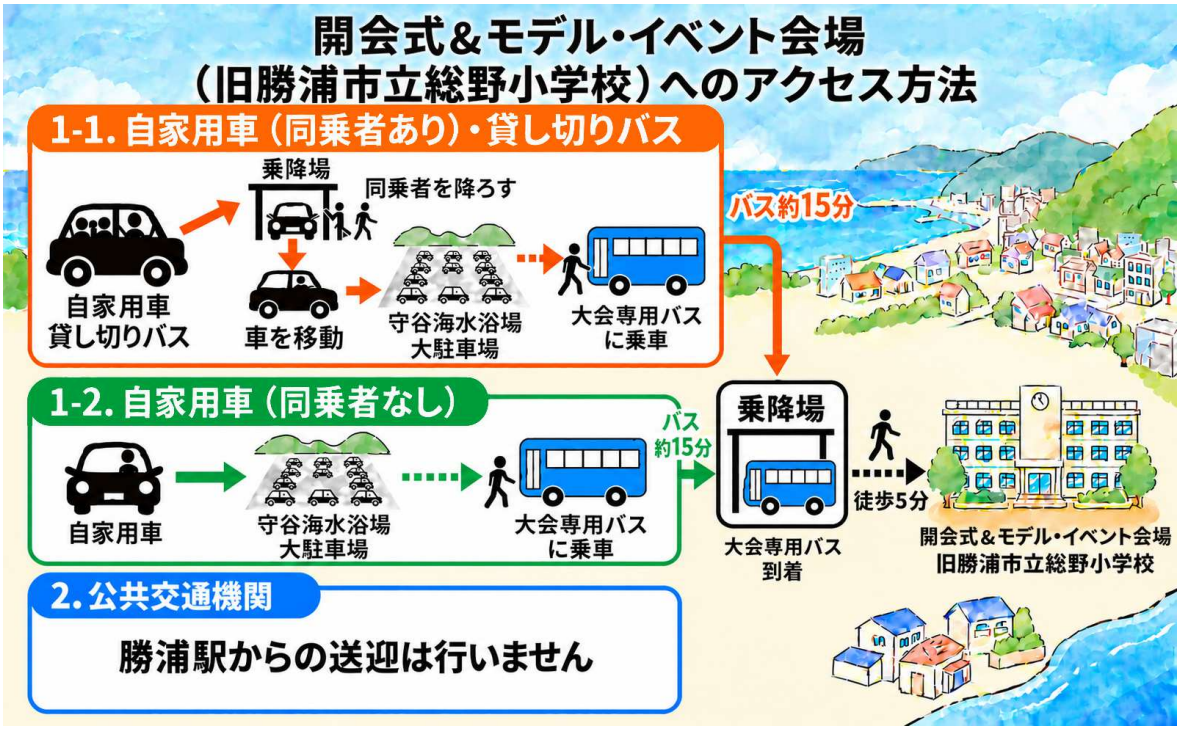
駐車

◆ 3 月 12 日 (金)

▶ 開会式＆モデル・イベント会場：旧勝浦市立総野小学校（〒299-5212 千葉県勝浦市蟹田 222-1）
駐車場：守谷海水浴場大駐車場（〒299-5244 千葉県勝浦市守谷）

▶ 大会会場には駐車場はございません。

▶ 自家用車利用の参加者は運転者以外が会場付近の乗降場で降車し、運転者は駐車場に駐車後、大会専用バスにて乗降場へ向かっていただきます。



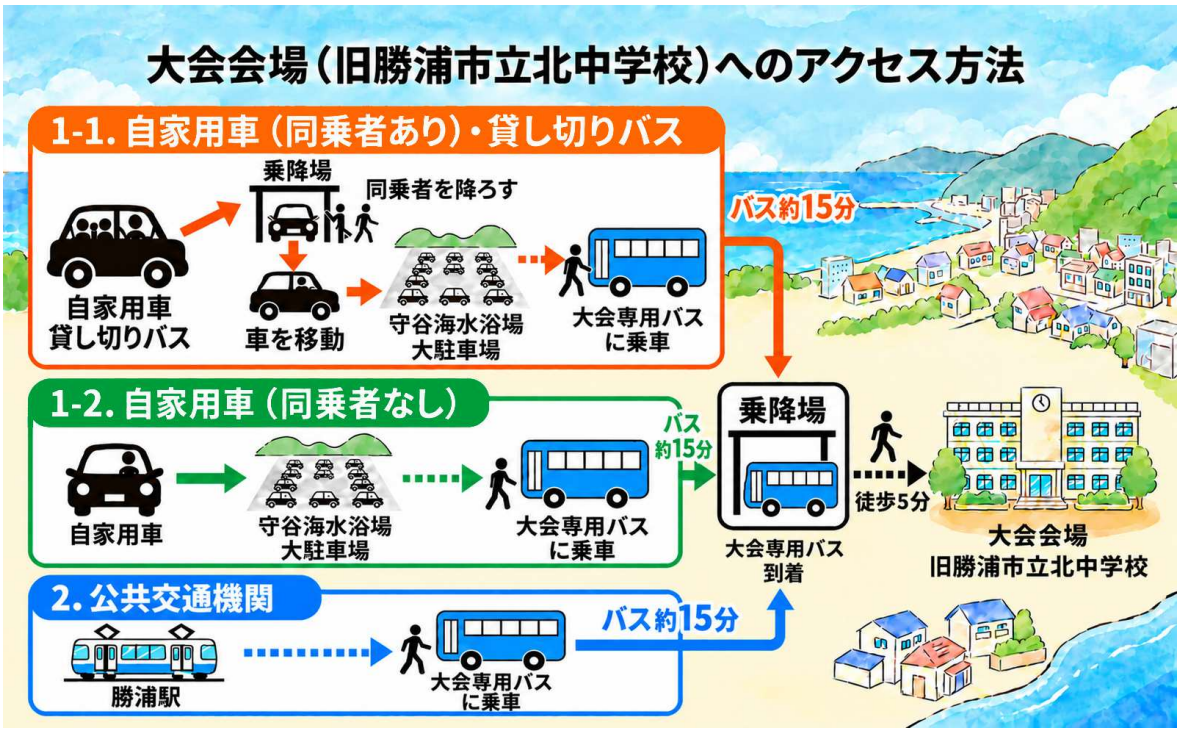
◆ 3 月 13 日 (土) および 3 月 14 日 (日)

▶ 大会会場: 旧勝浦市立北中学校（〒299-5218 千葉県勝浦市小羽戸）
駐車場：守谷海水浴場大駐車場（〒299-5244 千葉県勝浦市守谷）

▶ 大会会場には駐車場はございません。

▶ 自家用車利用の参加者は運転者以外が会場付近の乗降場で降車し、運転者は駐車場に駐車後、大会専用バスにて乗降場へ向かっていただきます。

▶ 公共交通機関をご利用の参加者向けに、勝浦駅より大会専用バスを運行する予定です。バスの運行ダイヤは追って公表します。



5 観戦・併設大会

観戦

本大会は観戦が可能です。後日発行する要項３に従って観戦してください。

併設大会

日本学連競技者以外の一般の方を対象とした併設大会を、本大会と同時に開催する予定です。詳細については 大会公式 Web サイト併設大会ページ にてご確認ください。申し込みについては、12 月頃発行予定の併設大会要項をご参照ください。

ー　要項 2 おわり　ー

2026 年度日本学生オリエンテーリング選手権大会

ミドル・ディスタンス競技部門、リレー競技部門

プログラム広告募集

要項 3（プログラム）に掲載する広告を募集します。募集内容については以下をご確認ください。母校の学生に向けた応援メッセージ、地域クラブの広告、大会告知など、多数のお申し込みをお待ちしております。

区分	1 コマ（1/8 ページ）	2 コマ（1/4 ページ）	4 コマ（1/2 ページ）	8 コマ（1 ページ）	1 6 コマ（2 ページ）
縦 × 横（mm）	67×85	67×170 or 134×85	134×170	267×170	267×170 ×2 ページ
営利団体	14,000 円	24,000 円	42,000 円	72,000 円	120,000 円
非営利団体	7,000 円	12,000 円	21,000 円	36,000 円	60,000 円

要項 3（プログラム）掲載広告

＜注意事項＞

- ▶ 要項 3 の印刷・配布は行いません。PDF ファイルとして発行し、Web サイトに掲載します。
- ▶ 1 ページのサイズは A4 です。
- ▶ 原稿は次のいずれかの形式で受け付けます：JPEG, PNG, PDF
- ▶ 原稿は必ずサイズをご確認の上で作成してください。申し込みサイズと原稿のサイズが異なる場合は、実行委員会でサイズを調整します。
- ▶ ファイルサイズが大きい原稿は圧縮して掲載する場合があります。
- ▶ 広告の掲載順は実行委員会で決定します。指定はできません。
- ▶ 要項 3（プログラム）広告掲載費用は、大会開催の如何に依らず、要項 3（プログラム）が発行された場合に請求いたします。要項 3（プログラム）発行前に大会の中止が決定した場合、広告掲載費用は請求いたしません。

申し込み方法

Google Form に必要事項を入力の上、お申込みください。

申し込み締め切り

2027 年 1 月 24 日（日）23:59 厳守

広告原稿提出締め切り

2027 年 1 月 31 日（日）23:59 厳守

原稿の提出先は申し込み完了後にお知らせします。提出確認後、締め切り日の 3 日後までに確認のメールを送付します。

広告掲載費用の請求について

広告掲載費用および振り込み先については、要項 3 発行後もしくは大会開催後、申し込み時にご記入いただいた連絡先にご連絡いたします。

問い合わせ先

主管連絡先とは異なりますのでご注意ください。

プログラム広告に関する問い合わせ

E-mail: icmr2026ad@gmail.com

アスリートとサポートスタッフのみなさんへ。

なぜ、私たちにとって、アンチ・ドーピングの
知識や活動が必要なのでしょうか？

アンチ・ドーピングは、たんに
「不正する人を見つけ、不当な勝利を防ぐ」ための活動ではありません。

アンチ・ドーピングは、スポーツを成り立たせている
「みんながフェアであること」を守るためにあります。
全員がフェアでなければ、そもそもスポーツは成り立たない。
すべての人が、スポーツに参加し、公平に競い合うことができる。
その権利を守るために、アンチ・ドーピング活動があります。

そして、もうひとつ。アンチ・ドーピングは、
「スポーツが生み出す価値」を守るためにあります。
挑戦する心、相手へのリスペクト、そこから生まれる友情、
そんな、社会にとっても大切な価値を守るためにあります。

フェアであることを守り、スポーツの価値を守る。
そのいちばん中心となるのが、アスリートとサポートスタッフのみなさんです。
みなさんが、フェアであることをつねに誇りに思い、
その大切さを、世の中に示すこと。
それこそが、スポーツの発展を支え、よりよい社会をつくる力になります。

フェアであることの誇りを胸に、すばらしいスポーツの価値を、
ともに広めていきましょう。

FAIR PRIDE

勝利を超える価値がある

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。

JADA PLAY TRUE Japan Anti-Doping Agency

Japan Orienteering Association 日本オリエンテーリング協会

公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

スポーツ庁委託事業

Copyright © JAPAN Anti-Doping Agency All Rights Reserved.

Ver.201903